

環境経営レポート

(2023年7月～2024年6月)



2024年10月1日

竹本機械株式会社
自動車事業部
(マツダオートザム竹原)

1. 事業所概要

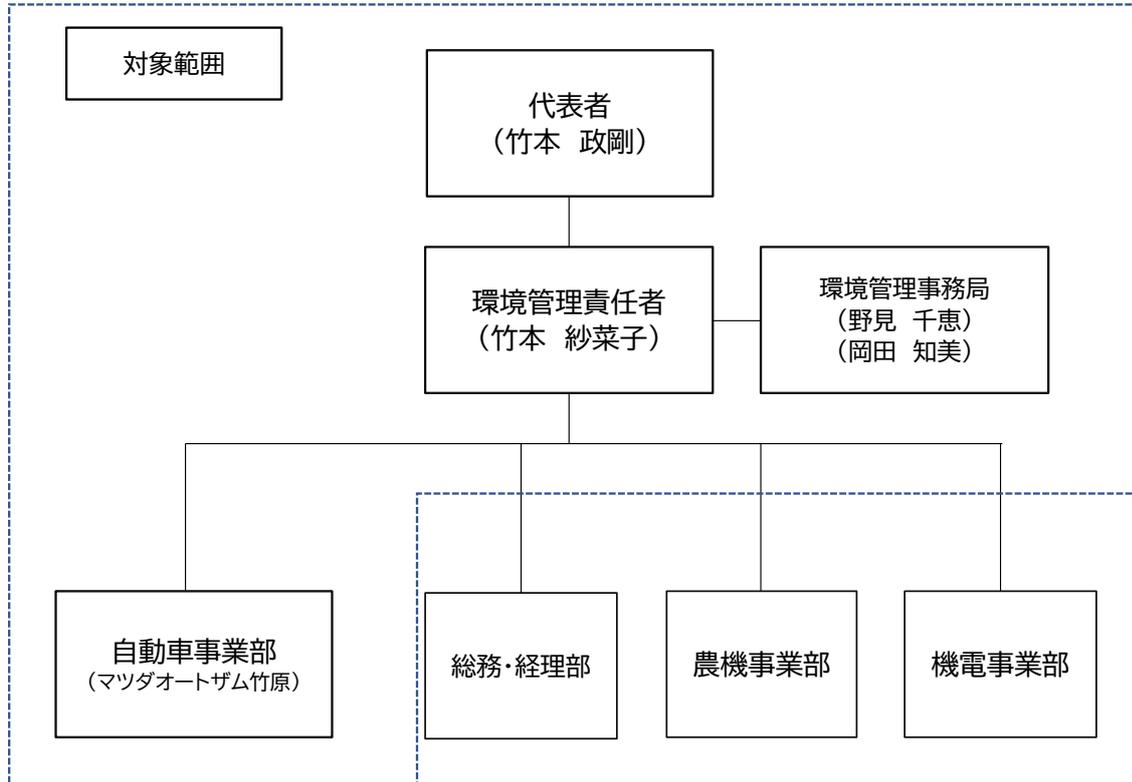
- (1) 事業所名 竹本機械株式会社 自動車事業部 (マツダオートザム竹原)
- (2) 代表者 代表取締役 竹本 政剛
- (3) 設立 昭和50年7月26日
- (4) 資本金 3,150万円
- (5) 所在地 広島県竹原市下野町2597-1
- (6) 事業内容 新車・中古自動車販売、自動車整備、損害保険の販売
事業年度 2023年7月1日～2024年6月30日
(エコアクション21運用年度も同じ)
従業員数10人 (内社員8名、役員2名)
床面積 店舗事務所 489㎡/工場・作業所等 245㎡



2. 対象範囲(認証登録範囲)

エコアクション21ガイドライン(2017年度版)に基づき、環境経営システムを構築・運営する。

(1) 組織 竹本機械株式会社 自動車事業部(マツダオートザム竹原)



(2) 対象活動範囲

- ①新車・中古車販売
- ②部用品販売
- ③自動車整備業務
- ④損害保険代理店業務

(3) 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者: 取締役 竹本 紗菜子

環境管理事務局: 野見 千恵・岡田 知美

連絡先: 0846-22-1238

役割・責任・権限

- 代表者
 - ・ EA21システムの統括
 - ・ 環境経営方針の策定
 - ・ 実施体制の構築
 - ・ 全体の評価と見直し
- 環境管理責任者
 - ・ EA21システムの構築・運用
 - ・ 上記用状況の代表者への報告
- 環境管理事務局
 - ・ 環境管理責任者の補佐
- 各部門長
 - ・ 各部門に関連する活動計画の
実行等EA21システムの統括
- 従業員
 - ・ 環境経営方針や各自の役割を
理解し、環境活動に取り組む

3. 環境経営方針

当社は「機材の提供を通じ 地域社会に役立つナンバーワン企業を目指そう」を企業理念としています。創業者は「地域の皆様にご不便を感じないように」との思いのもと、自動車事業部を設立いたしました。創業の地である芸南地域は自然豊かで美しい地域ではありますが、過疎化や人材不足など、大きな問題に直面しています。

私たちは自動車事業を通じ、芸南地域の発展に貢献し、地域の皆様が安心して末永く自動車とお付き合いをしていただけるよう、地域社会に密着した企業活動を行ってまいります。

また、芸南地域の豊かな自然環境を次世代に残すために、社員全員が環境負荷の低減に取り組み、地域環境の保全と持続可能な社会の実現に貢献いたします。

【環境経営理念】

竹本機械株式会社 自動車事業部（マツダオートザム竹原）は自動車販売、整備など全ての事業活動において環境負荷の削減に継続して取り組み、芸南地域の自然環境保全や循環型社会の形成に貢献いたします。

【行動指針】

1. 事業活動に関わる環境関連法規制及びその他の環境関連要求事項の遵守
2. 電力や化石燃料使用量削減による二酸化炭素排出量の削減
3. 廃棄物の排出抑制と適正処理
4. 総排水量の削減
5. グリーン購入の推進
6. 環境に配慮した車両の販売及びサービスの提供
7. 地産地消及び地域社会貢献の推進
8. 経済、社会、政策等を踏まえた環境経営の継続的改善の実施

制定：2013年7月18日

改定：2019年7月 1日

竹本機械株式会社
代表取締役 竹本 政剛

4. 環境経営目標

環境経営方針・環境への負荷及び取組への自己チェックの結果・環境関連法規制などを踏まえて「環境経営目標」を以下のとおり定めました。

項目		基準値	目標(各年度7月～6月)			
負荷の自己チェックコア指標	環境方針		環境目標項目	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	72,419 kwh (2012年度実績値)	-4.9% 68,870 kwh	-10.0% (注1) 65,177 kwh	-10.2% 65,032 kwh
		灯油使用量の削減	430 L (2017年度実績値)	-17.0% 357 L	-2.0% 421 L	-2.0% 421 L
		ガソリン使用量の削減	9,626 L (2016年度実績値)	-3.7% 9,270 L	-5.0% (注2) 10,090 L	-5.0% 10,090 L
		軽油使用量の削減	2,910 L (2016年度実績値)	-3.7% 2,802 L	-3.9% 2,796 L	-15.0% 2,473 L
	廃棄物量の削減	一般廃棄物の削減	623.9 kg (2013年度実績値)	-4.4% 596.4 kg	-20.0% 499.1 kg	-20.2% 497.9 kg
		産業廃棄物の削減	19,368 kg (2017年度実績値)	-10.4% 17,354 kg	-10.5% 17,334 kg	-10.5% 17,334 kg
水使用量の削減	節水	285.5 m ³ (2017年度実績値)	-2.0% 279.8 m ³	-2.0% (注3) 341.0 m ³	-2.0% 341.0 m ³	
グリーン購入促進		75.9 % (2019年度実績値)	+2.5% 77.8 %	+2.7% 77.9 %	+3% 78.2 %	
環境に配慮した製部品の提供	エコカーの拡販	80.8 % (2019年度実績値)	+0.5% 81.2 %	+0.3% (注4) 87.8 %	+0.5% 87.9 %	
	高性能エアコンフィルターの拡販	88.0 % (2021年度実績値)	+0.1% 88.1 %	+0.2% 88.2 %	+0.2% 88.2 %	
社会貢献	環境保全活動地域社会貢献	-	・地域の環境保全活動への参加 ・地産地消の推進 ・事業所周辺河川の生物水槽展示 ・エコキャップ回収事業	・地域の環境保全活動への参加 ・地産地消の推進 ・事業所周辺河川の生物水槽展示 (注5) ・エコキャップ回収事業	・地域の環境保全活動への参加 ・地産地消の推進 ・エコキャップ回収事業 ・ライトダウンキャンペーン参加	

※ 化学物質については製品安全データシートを確認した結果、使用しておりませんでした。
今後も適切に管理していることを、定期的に確認いたします。

注1： 電力使用量の削減については、目標の大幅達成が続いたことから、目標削減率を再設定いたしました。

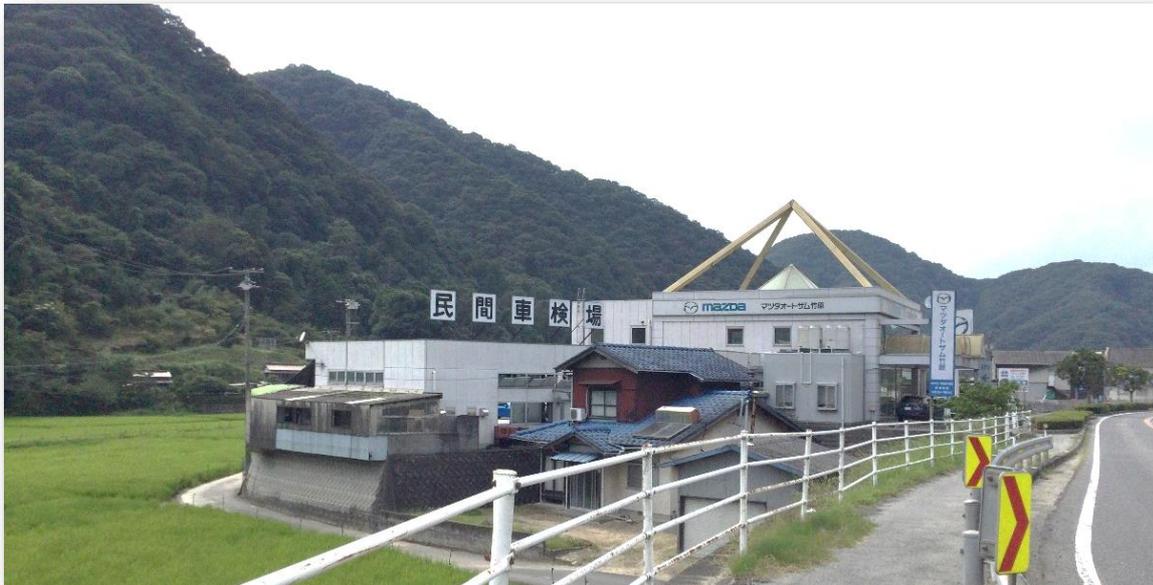
注2： ガソリン使用量の削減については、試乗やサービスカー運用の増加、また試乗車の大型化に伴う給油量の増加を鑑み、2023年度より2022年度の実績値10,621Lを基準値とした削減率-5%を目標に設定いたしました。

注3：水使用量の削減については、在庫台数の増加や大型化、試乗車維持のための洗車等、今後も使用量増加が予想される為、2023年度より2022年度の実績値348Lを基準値とした削減率-2%を目標に設定いたしました。

注4：エコカーの拡販については、2023年度より新車年間販売台数に対するエコカーの比率を基準値とし、目標を設定いたしました。

※当社では、政府が制定している「排気ガスの排出量と一定の燃費基準をクリアした自動車」をエコカーと定義しています。

注5：生物水槽展示については夏季休業時の飼育環境悪化およびショールーム展示施策に伴い、2024年度より終了いたします。



5. 環境経営計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電力使用量の削減

- ① エアコン設定温度の管理
 - ・ 冷房26度以上、暖房21度以上
(但しショールームについては顧客満足を優先とする)
- ② 不要照明の消灯
 - ・ 休憩時間中の工場照明完全消灯、事務所照明の一部消灯
 - ・ 夜間照明の見直し
- ③ クールビズ・ウォームビズの励行
 - ・ 移行期間を柔軟にし、取り組みやすいようにする
- ④ 作業効率改善による電力削減
 - ・ 工場機器の更新や残業時間の抑制による電力使用量の削減

(2) 灯油使用量の削減

- ① 暖気攪拌装置による暖房効率の向上
- ② 石油ストーブ使用時の温度管理の徹底

(3) ガソリン・軽油使用量の削減

- ① アイドリングストップの徹底
- ② サービスカーの満タン貸出・満タン返しの励行
 - ・ ご協力をお願いを記載したシールをサービスカー全車に貼付
 - ・ 貸出時のお声がけの徹底
- ③ 社用車(サービスカー)へのエコカー導入および適正台数管理

2. 廃棄物の削減

(1) 一般廃棄物の削減

- ① 社内書類における両面・縮小・裏紙コピー使用の徹底
- ② 社内便での使用済み封筒の使用徹底
- ③ 分別の徹底

(2) 産業廃棄物の削減

- ① 産業廃棄物の分別の徹底
 - ・ 取引業者の再選定及び分別による廃棄物の有価化の徹底
- ② 廃棄物の適正管理
 - ・ マニフェスト伝票の確認と保管管理
- ③ 在庫数量の適正化

3. 水使用量の削減
 - (1) 水使用量の削減
 - ① 業務全般にわたる節水活動
 - ・ 手洗い、洗車時等の節水の徹底
4. グリーン購入促進
 - (1) 環境ラベル等認定製品の優先購入
5. 環境に配慮した製部品の提供
 - (1) エコカーの販売
 - ① 来店顧客への試乗による拡販活動
 - (2) 高性能エアコンフィルターの販売
 - ① 車検・点検入庫時の拡販活動
6. 社会貢献
 - (1) 環境保全活動および地産地消の推進
 - ① 事業所周辺の環境や生き物の保全活動への参加
 - ・ 地域河川清掃活動への参加
 - ・ 事業所周辺河川に生息する生物の水槽展示
 - ・ 郷心会行事参加を通じたひろしま製品(自動車)の拡販推進
 - ・ 事業所内での地元製品活用
 - ・ ライトダウンキャンペーンへの参加
 - ・ エコキャップ回収事業
7. 環境教育及び緊急事態対応訓練の実施
 - (1) 環境教育訓練の実施
 - (2) 緊急事態対応訓練の実施(原則年1回実施)



6. 環境経営目標の実績

2023年度の環境経営目標達成状況と過去3年間の実績

2023年度の二酸化炭素排出量は264,779.98kg-CO₂(LPGの排出量69.49kg-CO₂を含む)となり、目標値に相当する二酸化炭素排出量275,932.4kg-CO₂と比較して4%の減少となりました。

※購入電力のCO₂排出係数(中国電力㈱)は0.511kg-CO₂/Kwh(2023年度実績)を使用しています。

(2023年7月～2024年6月の12か月間)

項目	2023年度実績		評価	過去3年間の実績 (各年度7月～6月)			
	目標値			2022年度	2021年度	2020年度	
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量	264,779.98 ----- 275,932.40	kg-co ₂	○	280,249.51 kg-CO ₂	235,038.20 kg-CO ₂	228,434.62 kg-CO ₂
	電力使用量の削減	49,231 ----- 65,177	kwh	○	47,030 kwh	50,946 kwh	50,537 kwh
	灯油使用量の削減	265 ----- 421	L	○	427 L	278 L	438 L
	ガソリン使用量の削減	10,131 ----- 10,090	L	×	10,621 L	8,676 L	8,371 L
	軽油使用量の削減	1,407 ----- 2,796	L	○	1,468 L	1,019 L	1,138 L
一般廃棄物の削減	477.6 ----- 499.1	kg	○	435.5 kg	366.4 kg	428.9 kg	
産業廃棄物の削減	17,259 ----- 17,334	kg	○	17,926 kg	14,459 kg	14,347 kg	
節水	667.0 ----- 341.0	m ³	×	348.0 m ³	231.0 m ³	223.0 m ³	
グリーン購入促進	86.0 ----- 77.9	%	○	78.3 %	84.3 %	95.2 %	
エコカーの拡販	93.3 ----- 87.8	%	○	79.3 %	79.3 %	78.5 %	
高性能エアコン フィルターの拡販	89.3 ----- 88.2	%	○	91.5 %	88.0 %	87.5 %	
環境保全活動 地域社会貢献	-		○	項目実施	項目実施	項目実施	

注) 液化石油ガス(LPG)は全体の0.1%以下と極めて僅かで、かつ、用途は“湯茶、冬季食器洗浄及び手洗い等”で削減対象になじまないため、二酸化炭素排出量の削減対象としておりません。

7. 環境の取組結果・評価、次年度の環境経営目標及び環境経営計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電力使用量の削減

【結果】 目標達成

【要因】 今期は目標削減率-10%と高い目標となりましたが、ショールーム及び工場でのこまめな節電により、達成することができました。
来期以降、夏季の異常高温により、電力使用量が増加することが予想されますが、引き続き電力使用量の削減に意識的に取り組み、目標達成できるように努力いたします。

(2) 灯油使用量の削減

【結果】 目標達成

【要因】 今期は暖冬により使用量が抑えられ、目標達成となりました。
使用量については毎年の気候により大きく変動しますが、今後もお客様の快適さと使用量の削減を両立できるよう、工夫をしながら削減活動に取り組みます。

(3) ガソリン使用量の削減

【結果】 目標未達

【要因】 試乗やサービスカーの運用の増加が大きな要因となり、未達となりました。
今後も活動に見合う適正な使用量となるように、取り組みを続けてまいります。

(4) 軽油使用量の削減

【結果】 目標達成

【要因】 今期はディーゼル試乗車の導入が少なく、キャリアカーのみの使用に抑えられ、大幅な目標達成となりました。今後の試乗車導入計画からもさらなる削減が可能と判断したため、来期より目標削減率を-15%に設定いたします。

2. 廃棄物の削減

(1) 一般廃棄物の削減

【結果】 目標達成

【要因】 今期は目標削減率-20%と高い目標設定ではありましたが、裏紙や使用済み封筒使用の徹底など継続した取り組みにより、目標を達成することができました。
印刷物についても特に必要があるもの以外はオンライン上での閲覧を徹底するなど、こまめな活動を続けております。
今後も更なる削減ができるよう、引き続き削減活動に取り組みます。

(2) 産業廃棄物の削減

【結果】 目標達成

【要因】 在庫量の増減により、排出量は大きく影響を受けますが、少しでも排出量の削減ができるよう、引き続き削減活動に取り組みます。

3. 水使用量の削減

【結果】 目標未達

【要因】 漏水により、使用量が著しく増加しました。埋設配管の為、漏水箇所を特定することが難しく、修理完了までに数カ月かかりました。
来期についても使用量削減に努め、削減活動を継続いたします。

4. グリーン購入促進

【結果】 目標達成

【要因】 環境ラベル認定製品やグリーン購入についての意識が定着し目標を達成できました。
今後も社員一人一人がグリーン購入について知識を深め、積極的に購入促進に取り組みます。

5. 環境に配慮した製部品の提供

(1) エコカーの販売

【結果】 目標達成

【要因】 今期より年間の新車販売台数に対するエコカーの比率を基準値とした目標に取り組み、達成することができました。
今後もお客様に環境性能のご説明を引き続き丁寧に行い、拡販に努めてまいります。

(2) 高性能エアコンフィルターの販売

【結果】 目標達成

【要因】 高い目標ではありましたが、車検・点検入庫時の拡販により目標達成となりました。
引き続き拡販活動に努め、目標を達成できるように取り組みを続けてまいります。

6. 社会貢献

環境保全活動及び地産地消の推進

環境保全活動については、4月の賀茂川清掃が中止となりましたが、9月の一間川清掃活動に参加をいたしました。

一間川に生息する生物の水槽展示については長年、お客様からご好評を頂いておりましたが、夏季休業時の室温上昇による飼育環境悪化やショールーム展示施策により、今期で終了となりました。(飼育生物については当社社員がすべて引き取りました)

地産地消の推進については、今後も郷心会行事参加を通じたひろしま製品(自動車)の拡販推進を行ってまいります。

事業所内での地元製品活用については、「BUYひろしま/やまぐちプロジェクト」終了に伴い、2024年4月1日より「マツダフレンドシップパートナーマイカーご成約御礼」に参加し、継続することになりました。(マツダフレンドシップパートナーの対象企業、団体にお勤めの皆様にご成約御礼として「ひろしま/やまぐち商品」をプレゼント)

ライトダウンキャンペーンについては2023年7月、2024年3月の2回に参加いたしました。

「エコキャップ回収事業」については活動が定着し、今期は約14kgを竹原豊田法人会を通じて委託、寄付をすることができました。

今後も積極的に活動に参加し、社会貢献を果たしてまいります。

7. 環境教育及び緊急事態対応訓練の実施

環境教育については朝礼や会議等で適宜行っております。また、緊急事態対応訓練については今年度も9月に実施いたしました。

次年度も継続して環境教育、緊急事態対応訓練を行います。

8. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

次年度の環境経営目標及び環境経営計画については4ページの環境経営目標、6～7ページの環境経営計画の通りです。



【地域河川 一間川】

■ 継続取り組み例

【高性能エアコンフィルターの拡販】



今年度も高性能エアコンフィルターの拡販に取り組みました。
 エアコンフィルターの定期的な交換により、エアコンへの負荷が減り、車内環境も向上します。
 またPM2.5に対するお客様の意識も高まっていることもあり、好評を頂いております。



【一間川生物の水槽展示】

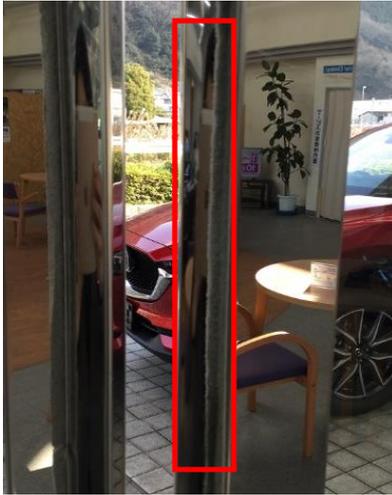
場所: マツダオートザム竹原
 ショールーム内



省エネタイプエアコン
 及び天井扇の使用

場所: マツダオートザム竹原
 ショールーム内

備考: ショールーム内は天井が高いため、天井扇3台を使用し、暖気を攪拌しています。

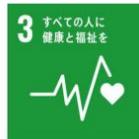


すきま風の防止対策

場所: マツダオートザム竹原 ショールーム内 扉

備考: 扉の内側にクッションを貼り付け、すきま風の流入を防止しています。

【エコキャップ回収事業】



エコキャップ約2kgで
ワクチン1人分

エコキャップの分別回収で
環境保護 & 恵まれない子供たちに
ワクチンを！



回収したエコキャップは竹原豊田法人会を通じて
社会福祉法人豊田会で洗浄後、
株式会社みどり商会で裁断されリサイクル素材に変わります。
その売却益が寄付金として
認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会に送られます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

マツダオートザム竹原は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

ペットボトルのキャップ回収ボックスを店頭に設置し、竹原豊田法人会を通じてNPO法人に委託することで、世界の子どもたちへのポリオワクチン接種支援を行っています。
廃棄物量の削減だけでなく、SDGsの17の目標の内、目標3の「すべての人に健康と福祉を」の達成にも寄与することから、来年度も引き続き取り組みを続けてまいります。

8. 環境関連法規制等の順守状況

適用される主な環境関連法規制は、以下のとおりです。

環境関連法規制	要求事項	順守状況
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理	○
広島県生活環境保全条例	騒音関係特定施設の届出	○
浄化槽法	浄化槽設置の届出/保守点検・清掃・定期検査	○
フロン排出抑制法	フロンの適正処理/点検・管理	○
自動車リサイクル法	使用済み自動車の適正処理	○
消防法	少量危険物貯蔵取扱の届出	○
高圧ガス保安法／一般高圧ガス保安規則	法令で定める技術上の基準に従った高圧ガスの消費	○
東広島市火災予防条例	変電設備等の設置届出	○

上記環境関連法規制等の逸脱はありませんでした。また、当局からの違反の指摘及び訴訟もありませんでした。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

環境経営目標については、12項目中10項目の達成となりました。

今年度もロシア・ウクライナ情勢を起因とした資源やエネルギー価格の高騰により、大変厳しい状況が続きました。一部では緩やかな回復基調がみられますが、自動車業界ではコロナ禍での販売不振が今後の車検・点検の入庫台数に影響することから、引き続き厳しい状況が予想されます。目標設定については状況、活動に応じ適正なものになるよう、適宜見直しを進めてまいります。これからも業務を通じた社会貢献活動や地域行事などに積極的に参加し、地産地消・環境保全に取り組んでまいります。